

# 「学習の友」学習会

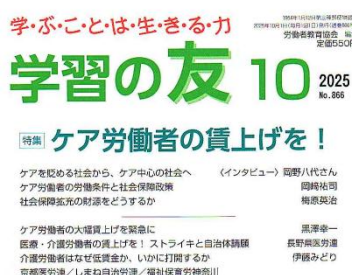
静岡県労働者学習協会静岡支部

## ニュース

2025.10.11 No.157

## ケア労働者の定着は政府の責任

### ゆとりある職場の実現で社会サービスの充足を



今回は10月号の学習会です。

特集記事の「ケア労働者の労働条件と社会保障政策」（岡崎祐司 佛教大学教授）を読み合わせ討論をしました。

最初に、「ケア労働者」の範囲を示した上で、「ケア労働者は社会保障における社会サービス保障を担う労働である」と定義し、「ケア労働者の賃金や労働条件の引き上げには国家責任がある」と明言しています。そしてそれらの根拠について文章を展開していきます。

まず「社会保障」の定義を示します。国家が国民の生存権を認め、国家（政府）の責任で・・・「健康で文化的な最低限度の生活」を保障すること、・・・継続的で安定した生活を保障することを目的とした政策であり、労働政策、教育政策、住宅政策、交通政策、情報政策などと

関連して国民最低限の基盤のうえに社会の一員としての生活を国民がおくれるよう保障する総合的な政策・制度の体系と指摘します。そして、「社会保障の政策体系」の全体像を示します。

憲法が国民に約束する社会保障の目的（最低生活保障・貧困問題解決など）実現が重要で、むやみに共助を求めることをよしとせず、また社会運動が原動力として水準を高める努力も指摘します。



次回学習会は次のとおりです。11月号を持って  
お気軽にご参加ください。

日時 11月12日（水）18：30～

場所 国労小会議室

次回は第二水曜日となります。お間違いなく。



静岡県労働者学習協会のブログをご覧ください。

<http://shizuoka-gakkou.sub.jp/www/>

その上で、社会保障とケア労働について説明していきます。  
ケア労働者は、社会サービス保障（医療、社会福祉・保育）の担い手です。その特質は、①人権の保障、発達の保障、それによる社会の維持という公共目的を深く帯びたサービスを担う労働。（「日常性」があるからこそ、専門性と倫理性は求められる。）②対象（利用者・家族など）理解と分析が、専門性の一つとなる。③社会サービスの必要なことを充足できるようにする。（介護保険制度はこの「必要充足の原則」を機能させていない。）



④時間・空間・空間と余裕・集団性の保障により成立する。（労働者が疲弊するような長時間労働や劣悪な空間では、十分なケアができないし、対象者にとってリスクが大きい。）

労働条件の悪化の背景は診療報酬や介護報酬の引き下げなどの制度改悪があり、使用者の責任とともに政府の責任も重大と云います。労働者間の共有などが必要なのに、非正規雇用など不安定労働者が多くかかえ、本来のケアは実現できないと断言します。政府がやるべきこととして、①職員配置に関する基準を大幅に引き上げること。②医療・社会福祉分野の「特定最低賃金制度」をつくること。③国民の負担を強化するのではなく、国家責任と経済力に応じた資本の財政負担＝応能負担を強化させ、所得再分配という社会保障の機能を再生する。などをあげています。

最後に、「ケア労働者の労働運動と社会保障運動の結びつきをより豊かに発展させることが重要になっています。」と訴えます。



討論では次のような意見がありました。「ある老人病院に働く人から聞いたが、そこは職員が辞めてしまい、人が足りないので大変だという。夜勤もまともに組めず職員一人にかかる負担が過重となる。そして職員が利用者に、ひどい口の利き方をするようになったという。言うことを聞かないと命令調に段々になっていく。新規採用者で優しくそうだった職員が一か月も経たない内に怖い目になってきた。そういう職員の声を聞くと心臓がドッキとする。何とかしたいと言っている。」「介護の職場に勤めていたが、職場がいやになり辞めた人から聞いたことだ

が、入るときには歩けた利用者が出るときには歩けず、何にもできない人間となってしまう。そこでは本人の自立を支えるのではなく、職員が仕事の規定にそって、本人に代わってやってしまう。こうした介護がやられている。とのことだった。」「母が3・4年老人病院に入っていた。人が足りないなかで、一日でこれだけやらなければという決まりがある。だけど相手は人間だ。機嫌が悪い時も、性格もある。そうすると優しくできないとなる。お金と人を投入していない政府に大きな責任がある。」「介護だと利用者の負担が決まっている。費用がかかれば保険料が自動的に上がる仕組みになっているのも問題。」「2000年から介護保険が始まったが保険料は今2倍になっている。」

など厳しい状況が出されました。



# 勤労者通信大学

2025年度受講生募集 4月開校 募集活動期間～2025年9月末

テキスト部分改訂！ 学びあいをチカラに新しい私を

私らしく生きたい、社会をよくしたいを科学的につかむ学びの入口

入門コース

受講料 8,000円

労働組合活動を自信をもってすすめる力 権利、要求、日常活動、たかひを学ぶ

労働組合コース

受講料 12,000円

ものの見方・考え方から、資本主義経済のしくみ、社会を変えるための理論まで体系的に学ぶ

基礎理論コース

受講料 15,000円

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4-5F TEL 03-5842-5644 FAX 03-5842-5645  
Email: kin@gakusyu.gr.jp HP: <http://www.gakusyu.gr.jp/> Facebook: @kintsudai

